

中学校社会科採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答	[例]	採 点 上 の 注 意	配 点
1	1	5		6
	2	2		6
	3	4		6
	4	1		6
	5	4		6
	6	7		6
	7	5		6
	8	4		6
	9	3		6
	10	2		6
	11	1		6
	12	3		6
2	1	6		8
	2	2		8
	3	2		8
3	1	2		8
	2	2		8
	3	7		8
4	1	3		8
	2	3		8
	3	1		8

中学校社会科採点基準

2枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点	
5	<p>社会的事象を時期、推移などに着目して捉え、類似や差異などを明確にし、事象同士を因果関係などで関連付けることであり、考察、構想する際の視点や方法（考え方）。</p>		<p>内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。</p>	12	
6	1	① 地区 C	<p>全て合っているものだけを正答とする。</p>	8	20
		② 地区 B			
		③ 地区 A			
	地区名	④ 地区 E	<p>地区名と理由がともに合っているものだけを正答とする。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。</p>	12	
理由	⑤ 地区 D				
2	<p>資料Ⅱ中の④、⑤は、空家率がほぼ同じ割合となっているので、高齢者のみの世帯割合でいずれの地区が対応するのかを判断する必要がある。 地区Dは2020年に団地内の小学校が1校閉校となっており、1970年の開発当時の入居者の高齢化や子の独立が進むにつれて、学齢児童が減少したものと考えられる。 一方で、地区Eは2022年に団地内に学習塾が1校増えており、2010年に入居が始まった住宅団地には比較的若い世代の世帯が多く居住し、学齢児童が増加したものと考えられる。 以上のことから、地区Dと地区Eでは、地区Dのほうが高齢者のみの世帯割合が高いものと考えられ、④が地区E、⑤が地区Dに対応すると判断した。</p>				
7	効率の考え方	<p>多目的室を、1回分使用しないのはもったいない（無駄になる）、また、8回目は3年生のみが練習場所を使用することになっているため、練習場所、そして他学年にとっては練習時間が、最大限活用されていない。</p>	<p>問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。</p>	24	24
	公正の考え方	<p>8回目を3年生だけに割り振るのは、不公平だ。 結果の公正を基に考えると、1・2年生は、本番まで3回の使用に限られ、3年生だけが4回使用できるのは、不公平だ。 また、機会の公正を基に考えると、8回目には、まだ多目的室が空いているにもかかわらず、3年生のみの使用になっており、1・2年生の使用が不当に制限されている。 さらに、手続きの公正を基に考えると、8回目には、まだ多目的室が空いているにもかかわらず、今年度の練習場所の割り振りが3年生を優遇する案となっていることから、1・2年生との合意や調整が図れていないと推測することができ、今年度の案の決め方に問題がある。</p>			